



～昨年の
経木塔婆供養～

暑さ厳しき折、皆さま方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、来る八月二十一日に『孟蘭盆・川施餓鬼会』を執り行います。まだまだコロナ禍の中ではありますが万全を期した上で、共にお題目を唱え、ご先祖への感謝の法要をおつとめしましょう。



★鬼子母神講・写経会
7月8日、鬼子母神講の後5年ぶりに写経会を開きました。13名が参加し、自我偈510文字、宝塔偈96文字を各々選び、無心になつて経文を写しとることに集中しました。
「1時間ほどでしたが、静かな空間の中に静かな時間が流れ、心も静まり清らかなになった気がしました。年1回だけでなく何回か開いていただきたいと思ひました。『某女』のような感想もいただきました。

孟蘭盆・川施餓鬼塔婆供養
八月二十一日(日)
午後一時三十分より
☆昼食の用意はごさいませぬ。
☆別紙の用紙でお申込みください。

★重忠まつり
7月24日(日) 富山重忠公供養祭(重忠まつり)が、供養塔のある高台で行われました。昨年、一昨年はコロナ禍により墓前での供養祭のみでしたが、今年は小学生による重忠おどりの奉納や、石投げも行われました。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で重忠が好人物として登場していることもあり、村外からも見学者があり、沢山の人が参加し、奉納おどりと石投げなどを楽しみました。
上行寺では、重忠の供養塔と伝わっている御廟所で毎年7月22日(前後の日曜日)に(御命日は6月22日)五色の旗を立ててご供養を続けています。
検原に伝わる伝説は、史実との違いがあるものの、その後(二)三年代能登守護高山義綱が検原に居城し、法華経に帰依した義綱が、岩稲・割山・検原を法華宗に改宗し、今日の上行寺の礎(検原法華堅法華)をつくつたといふことは間違いないことです。このように、「先祖を大切に、供養すること、今を生きる力、頂戴する。」という上行寺檀家の強い信仰心により、重忠公のお供養を今日まで続けられています。



★平和の鐘を鳴らそうin上行寺
令和4年7月26日(火)、前日の夜の雨もあがり、爽やかな緑に囲まれた上行寺本堂に小・中学生・学校関係者、地域の人たち85人が集まりました。
富山ユネスコ協会とユネスコスクール加盟校である神通碧小学校・検原中学校の実行委員会による「平和の鐘を鳴らそうin上行寺」を今年も開催することができました。
オープニングは、上行寺の金子弘子さんによるウクライナの民話「おぶくろ」とロシアの民話「おおきなななぶ」の絵本の読み聞かせを行いました。民話の意味する人としての生き方に触れ、ウクライナの子どものために思いを寄せながら一刻も早い終戦を願いました。
開会式では、上行寺住職の金子光昭師から、平成28年から始めた「平和の鐘を鳴らそうin上行寺」を振り返り、持続していくことの大切さ、小さな積み重ねが平和へとつながっていくことを話していただきました。
その後、富山の合唱団TMSが「手をつなごう」平和な世界のために、「幸せなら手をたたこう」手をつなごう、「上を向いて歩こう」など7曲を披露してくださいました。途中、子どもたちや地域の人たちも演奏に加わり、和やかに楽しい時間の中で、「平和の心」を感じることができました。
検原中学校生徒会から世界寺子屋運動の一環として1月から2月に行つた「書きそんじハガキ回収」のお礼と、今年度の「書きそんじハガキ回収キャンペーン」への協力依頼もありました。
参加者全員が「ユネスコ憲章前文」わたしの平和宣言を唱和した後、境内に出て1人ずつ鐘を突きました。(記・水上庄子)



〒939-2184 富山県富山市検原 3743

HP:「[検原上行寺](#)」で検索!

不怠山 上行寺 TEL 076-485-2524